



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	宇都宮都市計画道路 3・3・901号おもちゃのまち ^{しもこやま} 下古山線 ^{わかくさちょう さいわいちょう} 壬生町若草町～幸町三丁目 若草町工区 L = 605 m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

I 事業の概要

【目的】

本路線は、県道宇都宮亀和田栃木線から新4号国道を結ぶ県道羽生田上蒲生線の一部であり、都市の骨格を形成する重要な路線である。沿線には、北関東自動車道壬生IC、おもちゃ団地等が立地しており、都市間連携や地域産業活動を支えるとともに、第2次緊急輸送道路及び重要物流道路に指定されている。

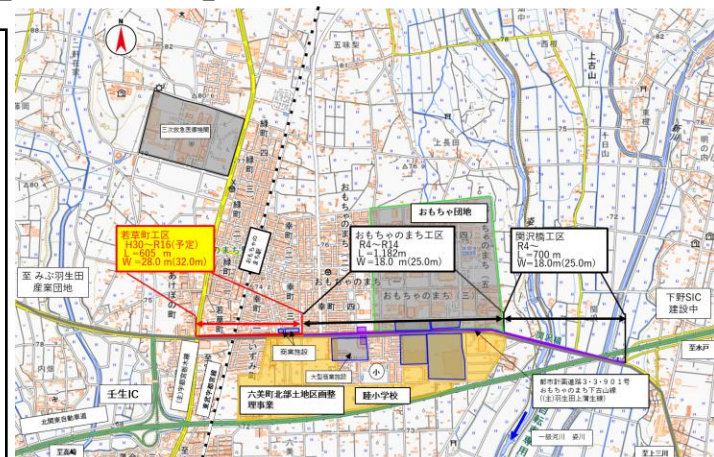
しかしながら、本路線は、跨線橋部で車線数が減るため、通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しているほか、歩道が整備されておらず、安全な歩行空間の確保が課題となっている。

このため、本事業では、跨線橋部の4車線化と歩道整備により、渋滞緩和、安全な通行空間の確保、壬生IC、周辺産業団地及び三次救急医療機関へのアクセス向上を図り、土地区画整理事業と連携し良好な街並みを創出する。

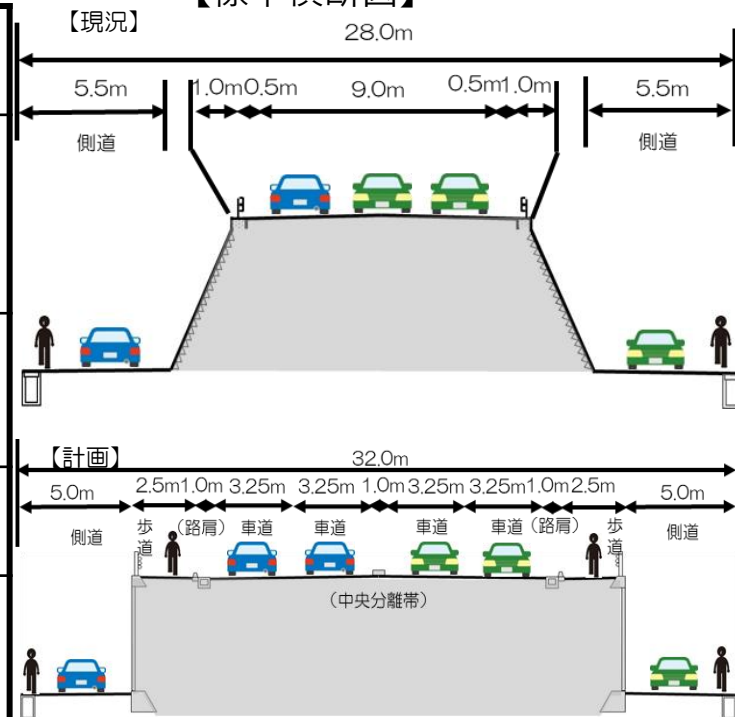
【現況】

目標事業期間 (変更前)	平成30年度～令和16年度 (平成30年度～令和10年度)		
事業経過	平成30年度	事業化	
	平成30年度	用地着手	
	令和元年度	工事着手	
	令和8年度	事業再評価(今回)	
全体事業費 [うち用地補償費]	52.5 (33.7) 億円 [21.5 (19.6) 億円] ※ () は前回計画時		
事業延長 [うち整備済延長]	L = 605m [L = 0m]		
進捗率	基準年次：【令和8年度末時点】		
	既投資事業費	費用	進捗率
	25.3億円		48%
	[うち用地補償費	20.1億円	94%]

【事業概要図】



【標準横断面図】



【箇所概要】



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

・ 事業期間の見直し
令和10年度 ⇒ 令和16年度

・ 総事業費の見直し
33.7億円 ⇒ 52.5億円

【全体事業費の見直し】

前回計画
(R5年度)

今回計画

	事業費	33.7億円 ⇒ 52.5億円 (+ 18.8億円)
内	工事費	14.1億円 ⇒ 31.0億円 (+ 16.9億円)
訳	用地補償費	19.6億円 ⇒ 21.5億円 (+ 1.9億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	1.2	59.8億円	51.9億円
(2)残事業	2.7	59.8億円	22.1億円

2 事業の整備効果等

- ・ 交通渋滞緩和による交通の円滑化
- ・ 歩道及び路肩の整備による歩行者・自転車の安全な通行空間の確保
- ・ 壬生ⅠC、周辺の産業団地及び三次救急医療機関へのアクセス向上

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

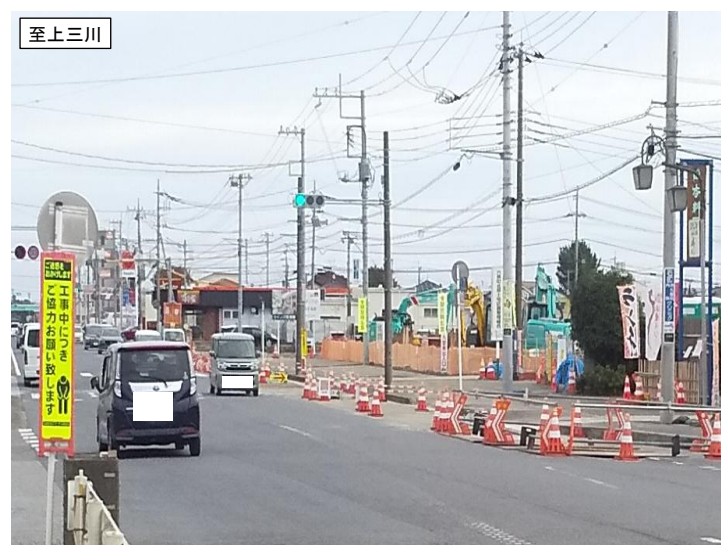
※令和8年度末時点

1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 48%
- 用地 94%
- 工事 10%

2 今後の事業進捗の見込み

- 用地取得、工事を推進し、令和16年度を目標に事業完了を図る。



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
- 雨水排水管渠において低コスト材料の活用により、コスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- 土地区画整理事業と連携しており、本事業では94%の用地補償と、一部工事を実施していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。